

### 3病院の果たすべき役割の明確化

市立函館病院が現在担っている役割(機能)

ガイドラインに示されている具体例	函館病院	恵山病院	南茅部病院
1 山間へき地・離島など民間医療機関の立地が困難な過疎地等における一般医療の提供		過疎地等における一般医療の提供(不採算地区病院)	過疎地等における一般医療の提供(不採算地区病院)
2 救急・小児・周産期・災害・精神・などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供	救急医療 ・救命救急センター(ヘリポート設置) ・救急告示病院	救急医療 ・救急告示病院	救急医療 ・救急告示病院
	小児医療		
	周産期医療		
	精神科病棟(100床)		
	結核病棟(30床)		
	感染症病棟(6床)		
	災害拠点病院		
	DMAT(災害派遣医療チーム)		
	エイズ治療拠点病院		
	臓器提供施設		
3 県立がんセンター, 県立循環器病センター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供	がん診療連携拠点病院		
	さい帯血移植実施施設		
	非血縁者間骨髄採取・移植施設		
4 研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点	地方センター病院		
	臨床研修指定病院		
	各種学会研修等施設		

### 3病院の果たすべき役割の明確化

#### 市立函館病院が現在担っている役割(機能)

ガイドラインに示されている具体例	市立函館病院	市内等の状況	備 考
1 山間へき地・離島など民間医療機関の立地が困難な過疎地等における一般医療の提供			
2 救急・小児・周産期・災害・精神・などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供	救急医療 ・救命救急センター(ヘリポート設置) ・救急告示病院	市内1施設 市内9病院2次輪番参加	(3次医療圏に1施設)
	小児医療	市内4病院	
	周産期医療(産科を休止)	市内4病院(産科病院)	
	精神科病棟(100床)	市内1,433床	
	結核病棟(30床)	市内40床	(国立病院10床)
	感染症病棟(6床)	市内1施設	(2次医療圏に1施設)
	災害拠点病院	市内1施設	(2次医療圏に1施設)
	DMAT(災害派遣医療チーム)	市内1施設	(道内7施設)
	エイズ治療拠点病院	市内1施設	(道内19施設, 南渡島では1施設)
	臓器提供施設	市内1施設	(道内17施設, 南渡島では1施設)
3 県立がんセンター, 県立循環器病センター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供	がん診療連携拠点病院	市内1施設	(本来2次医療圏に1施設)
	さい帯血移植実施施設	市内1施設	
	非血縁者間骨髄採取・移植施設	市内1施設	
4 研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点	地方センター病院	市内1施設	(3次医療圏に1施設)
	臨床研修指定病院	市内に5施設	
	各種学会研修等施設		

### 3病院の果たすべき役割と一般会計負担

市立函館病院が現在担っている役割(機能)と一般会計負担

ガイドラインに示されている具体例	市立函館病院	繰出金の状況(H19予算)			
		金額	算出方法	算出内訳	
1 山間へき地・離島など民間医療機関の立地が困難な過疎地等における一般医療の提供					
2 救急・小児・周産期・災害・精神・などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供	救急医療 ・救命救急センター(ヘリポート設置) ・救急告示病院	} 144,795	交付税額等	普交16,687+特交66,400+収支差61,708	
	小児医療		交付税単価	特交単価 @958×16床	
	周産期医療		交付税単価	特交単価 @2,438×36床×1/2	
	精神科病棟(100床)		交付税単価	普交単価 @489×200床	
	結核病棟(30床)		交付税単価	普+特交単価 @934×30床	
	感染症病棟(6床)		—		(道補助金のみ)
	災害拠点病院		—		
	DMAT(災害派遣医療チーム)		—		
	エイズ治療拠点病院				(国補助金(設備整備)のみ)
	臓器提供施設				
3 県立がんセンター, 県立循環器病センター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供	がん診療連携拠点病院	—		(道補助金のみ)	
	さい帯血移植実施施設	} 5,051	実額	無菌室の企業債元利償還金の残額	
	非血縁者間骨髄採取・移植施設				
4 研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点	地方センター病院	—			
	臨床研修指定病院	—			
	各種学会研修等施設	—			
その他繰出金対象項目	看護師養成施設運営費	78,741	収支差	高等学院費用125,265 - 収益 46,524	
	看護師養成施設整備費	500	実額	看護学院研修備品費	
	企業債元利償還金	1,092,179	ルール計算	元利償還金の2/3, 1/2, 10/10	
	児童手当支給対象延長分	10,267	実額	児童手当額の3/10, 10/10	
	基礎年金拠出金公的負担分	84,144	実額		
	共済追加費用負担分	107,229	実額		
	合計	1,707,938			

### 3病院の果たすべき役割と一般会計負担

市立函館恵山病院が現在担っている役割(機能)と一般会計負担

ガイドラインに示されている具体例	恵山病院	繰出金の状況(H19予算)		
		金額	算出方法	算出内訳
1 山間へき地・離島など民間医療機関の立地が困難な過疎地等における一般医療の提供	過疎地等における一般医療の提供(不採算地区病院)	77,154	交付税単価	普+特交単価 @1,169×66床
2 救急・小児・周産期・災害・精神・などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供	救急告示病院	5,000	定額	合併時5,000千円の定額
3 県立がんセンター, 県立循環器病センター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供				
4 研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点				
その他繰出金対象項目	企業債元利償還金	83,757	ルール計算	元利償還金の2/3, 1/2, 7/10
	児童手当支給対象延長分	40	実額	3/10, 10/10
	基礎年金拠出金公的負担分	5,388	実額	
	共済追加費用負担分	447	実額	
	合計	171,786		

### 3病院の果たすべき役割と一般会計負担

市立函館南茅部病院が現在担っている役割(機能)と一般会計負担

ガイドラインに示されている具体例	南茅部病院	繰出金の状況(H19予算)		
		金額	算出方法	算出内訳
1 山間へき地・離島など民間医療機関の立地が困難な過疎地等における一般医療の提供	過疎地等における一般医療の提供(不採算地区病院)	68,971	交付税単価	普+特交単価 @1,169×59床
2 救急・小児・周産期・災害・精神・などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供	救急告示病院	5,000	定額	恵山病院に合わせ5,000千円の定額
3 県立がんセンター, 県立循環器病センター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供				
4 研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点				
その他繰出金対象項目	企業債元利償還金	17,714	ルール計算	元利償還金の2/3, 1/2, 7/10
	児童手当支給対象延長分	300	実額	3/10, 10/10
	基礎年金拠出金公的負担分	4,579	実額	
	共済追加費用負担分	1,906	実額	
	合計	98,470		